

やすらぎ

No.64

医療法人社団 誠林会

〔発行人〕 理事長 林 健太郎

介護老人保健施設 やすらぎ

〒933-0954 高岡市美幸町1丁目1-53

TEL (0766)27-3838 FAX (0766)27-3839

http://seirinkai.jp

〔編集〕 やすらぎ編集委員会

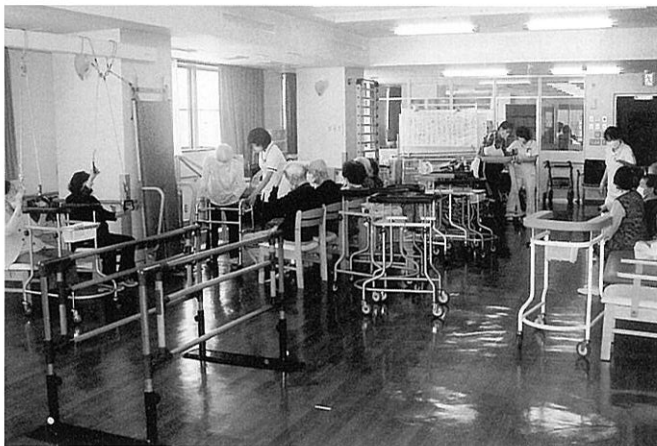
印刷 小間印刷(株) 高・利屋町3



▲新年もちつき



▲ボール投げを楽しむ



▲リハビリテーション

誠林会の基本理念は、毎朝心新たに復唱している。愈々研鑽し、地域の医療・保健・福祉に貢献したい。

医療法人社団 誠林会

基本理念

一、私たちは、医療福祉を通して、奉仕の精神で、地域社会の発展に貢献します。

一、私たちは、高度な医療福祉サービスを追求し、知識の習得、技術の向上に努めます。

一、私たちは、真心を尽くす触れ合いの中から、ゆるぎない信頼関係を築きます。

一、私たちは、人命の重さと人間愛を深く自覚し、倫理をもって職務に専念します。



▲節分



▲料理教室

人は誰でも、よりよく生きたいと思っている

医療法人社団 誠林会 会長 林 松夫



人はなぜ生きてあるのか
次の三つの領域にあると

- ① 社会 仕事を通して社会に貢献し、他人の幸福につながっている。
 - ② 法人（団体）所属する組織を強化する一員として、チームでワークしている。
 - ③ 自分 自己実現の場として、成功したい、そうありたい、自己啓発を目指す。
- どんな人と仕事をするか、邂逅の人生の中で、己を磨き豊かにする。

今、基本理念への想い

規定の意義

医療法人社団誠林会「基本理念」は、本紙毎号のグラビアに掲載している。平成12年8月7日作成し発表した。以来やすらぎ4階会議室で一同が会する行事や、各職場で毎朝斉唱している。基本理念について、営利企業では職員朝礼で、非営利奉仕団体などでも、会合や活動前に斉唱している。

四項目の目指すもの

基本理念は、「私たちは……」で始まる誓詞の形態をとっている。一つは、医療福祉を通して、奉仕の

精神で地域社会の発展に貢献する。地域社会に開かれた医療福祉の拠点の役割を果たし貢献する。

二つには、進歩の著しい医療福祉のなかで、高度な医療福祉サービスの追求は、重要な課題。そのために知識の修得、技術の向上に努める。

三つには、職員一人ひとりが、誠林会施設利用者と、触れ合いながら、信頼関係を醸成し、築いていく。

四つには、この世に生を受けた人間は、誰でもかけがいのない存在である。医療福祉に従事する者は、人間の尊厳と人間愛を深く自覚し、道徳観、倫理観をもって職務に専念する。

このように地域社会に奉仕し、技術の向上に励み、自信と誇りをもち、毎日新鮮な気持ちで頑張りたい。

君の思いは必ず実現する

稲盛和夫氏に学ぶ

京セラ名誉会長稲盛和夫氏は、会社経営していく中で、様々な困難に遭遇しながらも、そこで得た学びを、哲学まで高めた。その言葉から、多くの識者が学んでいる。

ノーベル賞学者山中伸弥氏も、「常に全力疾走だ」を教えられ、強烈なひと言として、肝に銘じているという。

苦しき世の生き方

生きていくことは、苦しいことの方が多し。ときには、なぜ自分だけかと思うことも。しかし、それは魂を磨くためと考えるチャンスだと。そ

ういう人こそ人生を自分のものとして、生きていけるのだと。

何がなんでも、こうありたい

人は「どうしてもこうありたい」と強く願えば、その思いが必ずその人の行動となって現れ、実現する方向におのずから向かう。

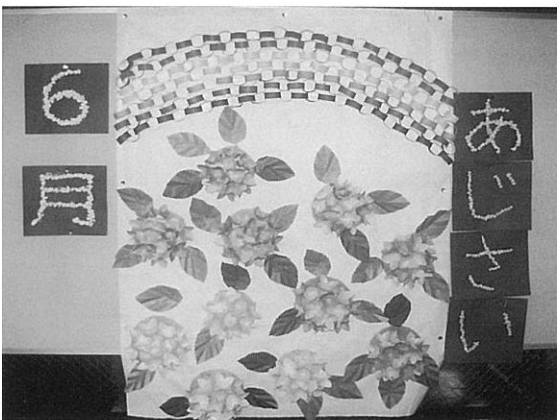
ただそれには、漠然と思うのではなく、強い思いでなければならぬ。

「何がなんでもこうありたい」「必ずこうでなくてはならない」といった、強い思いに裏打ちされた願望でなければ、決して実現しないと、稲盛氏は説く。

稲盛和夫氏に学ぶ人間学として、著書も多く、『何のために生きるのか』（五木寛之氏と共著）『成功』と『失敗』の法則（ポケット版）など現在でも幅広い人に読まれている。

「講話集Ⅰ」林松夫著
月刊「致知」より構成

10名余りの入所者の作業療法として壁紙が仕上がりました。



▲水無月紫陽花

万葉集と雨晴

馬並めて いざ打ち行かな 澁谷の
清き磯廻に 寄する波見に
(巻十七 三九五四)

七四六(天平十八)年八月、大伴家持が越中に赴任して初めての宴で詠んだ歌。

二上山の山すそが、雨晴海岸に落ちこむあたりあたりを「洪谿の崎」といった。

失われゆく鉄道の風景が甦る

JR高岡駅から、氷見まで十六キロほどのミニ鉄道氷見線。途中に、雨晴という面白い名の駅が。文治3年(一一八七)東國へ逃げる義経が、ここ義経岩で雨を晴れるのを待ったという伝説。義経公が祀られる岩の横を女岩も見ながら走る。



▲べるもんだ 雨晴海岸走る

泉田幸夫(写真愛好家)

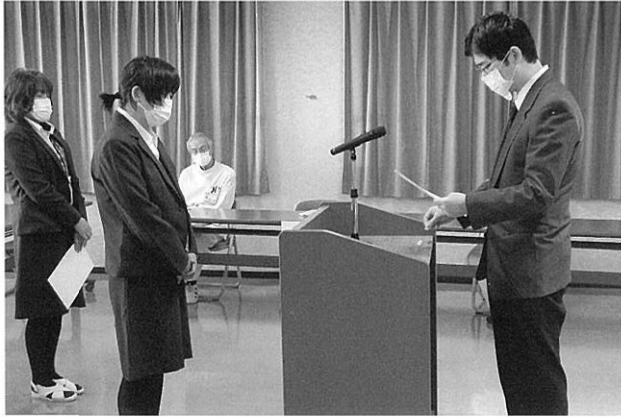
令和3年度 始業式・辞令交付式

4月1日、やすらぎ4階会議室で、医療法人社団誠林会令和3年度始業式及び辞令交付式を行った。

開式の辞に続き、全員起立し厳粛な雰囲気の中、誠林会基本理念を斉唱した。職員着席の後、林健太郎理事長は演壇に臨み式辞を述べた。

理事長は、先ずコロナ禍という未曾有の感染対策に誠林会職員が、緊張して対応していることに、感謝と労をねぎらった。そして地域の医療福祉に従事している50年余の実績をもつ誠林会を、今後とも全職員一丸となって協力し合い、「頑張りたい」と決意を述べた。

次いで新年度4月1日付、昇進、配置異動に関する3名に、辞令交付した。理事長は一人ひとりに、辞令の重みを



▲理事長辞令交付

かみしめ、期待されている人材である」と、激励した。

医療法人社団誠林会として、各種特色ある施設・業務を生かし、連携、協力、協力助け合い、明るい職場づくりの中で、仕事を専念し、人間として、己を磨いていくことに心を新たにしたい。

辞令交付 4月1日付

◇昇任

地域包括支援センター長 荒井 紀子

地域包括支援センター主任 土生谷由美子

◇異動

地域包括支援センター副主任 林 政紀子

旧所属 やすらぎ看護(一般職)

花見ドライブ

4月7日、新型コロナウイルスの影響で、花見ではなく花見ドライブに。今年は桜の開花が早く、道端の桜は半分ほど散っていました。それでも利用者さんは、バスの中から見える風景に「桜並木綺麗やね」「あそこよく行ったわ」「こんな店できたがや」と前のめりに。

古城公園で降り、桜吹雪が舞う中での写真撮影時は、桜の絨毯がとても綺麗で見とれておられる方も多かったです。そのタイミングで、結婚式と思われる和装姿の男女を見かけ、利用者さんたちも幸せを分けてもらったようで嬉しそうでした。

そのあとは、新高岡駅、イオン新館前を通ったのち、千保川沿いの桜を横目に



▲さくらさくら



▲高岡古城公園

帰路につく。約一時間と短時間の外出でしたが、皆さんは口を揃えて楽しかったと言われ、職員が逆に元気をもらいました。

このようなご時世だからこそ、生活の中にある小さな幸せを積み重ねていきたいと思えました。(中田)

琴演奏

令和3年1月20日、年が明けて初めての誕生会が開催されました。1月の誕生会はこの時期に毎年お越し頂いている、「箏曲 正派 明会」の方が慰問に來られました。

まだコロナ禍であるため3階の利用者の方は2階で見るとはなく、初めての試みとして、iPadを使用しテレビに映し出され、3階の利用者の方も箏の音色を楽しまれる事が出来ました。これも係りの方のおかげだと思えます。



演奏曲は、「さくらさくら」「荒城の月」を演奏され利用者さんの皆さんは、真剣に耳を傾けられました。

利用者の方にとって、コロナ禍の影響で外に出かけることが、減ってしまっているとき、箏の演奏が心の癒しになった事と思います。今年も2月以降のボランティアの慰問が難しいとも考えられています。利用者の方に楽しんで頂ける誕生会が早くくるよう心から願っています。(藤田)

運動会

今年度の運動会は、5月19日に3階で開催されました。今年もコロナ禍の感染予防のため、屋内で開催しました。昨年から外出行事もできなくなり、運動会は、気分転換をはかる絶好の機会になればと、企画、運営しました。

種目として実施されたぬいぐるみ引きは、昨年を改善し、利用者さんにとって、簡単に出来るよう工夫しました。第2競技の玉入れは、明るく元気に、力いっぱい投げて下さい。とマイクで呼び掛けました。皆さんは、それに応じ思い切って投げておられる様子を見て、進行していて、熱がこもりました。

運動会の競技終了後の利用者さんの笑顔を目にして、「今年も喜んでもらえて本当に良かった」とうれしく思っています。(熊谷)



▲玉入れがんばる

2月誕生会

2月になっても冷え込みの厳しい日が続くなか、2月10日、誕生会が行われました。コロナ禍の影響により、2階、3階に分かれて13名の誕生者のお祝いをしました。

催しは民謡体操とボール出し出しゲームです。初めに、豊作まつり唄の曲に合わせて上半身を動かし身体を温めました。うしお新舞踊研究会の会主、大野潮先生から教わった振付を利用者さんが座って踊れるようアレンジされ、リズムに乗りながら運動が出来ました。

輪の中に置いたボールにお手玉を当てて、円の外に出すボール出し出しゲームでは、始める前から狙いを定めて構える方や待ちきれず投げる方、笑いながら投げる方など、多彩な表情がみられました。回数を重ねていくことに当て方が上手になり、チーム内で「おお」「もうちょっと」と自然に上がる声や、利用者さん同士で、教えあつたりと盛りあがりました。コロナ禍でも、皆さんが笑顔になれるような催しを、今後も行っていきたいと思います。

(伊藤優)



▲ぬいぐるみ引き

3月誕生会

3月17日、3月の誕生会が行われました。今年もコロナ禍が終息せず、2階3階各フロアに分かれて開催されました。長谷田施設長の挨拶から始まり、誕生者一人ひとりにメッセージの書かれた誕生カードを読み手渡し、お祝いをしました。

今月の催しは、「バウンドボール」で、大小のペットボトルに得点を書き、ボーリングのピンのように三角に並べ、大きいボールを投げ倒れたペットボトルの得点の合計を競い合うゲームです。

利用者の皆さんは、普段の様子とは違い、楽しそうにボールを投げておられました。初めは恥ずかしがり嫌がられる利用者もおられました。最後には、全員参加で、職員も挑戦し、皆さん笑顔で楽しいひと時を過ごした会でした。最後に田中士長の挨拶で終了しました。(伊藤世)



▲ボール出し出しゲーム

4月誕生会

4月誕生会は、2階3階と別れて開催しました。

やすらぎ施設をいつも見守っておられる守衛の小泉さんの歌のショーです。担当者が依頼すると、快く受けてもらえました。

3階からスタート、着物に着替え、意気込み高く拍手で出迎える利用者さんの待つ食堂へ。



▲小泉さん熱唱

1曲目は、「東京五輪音頭」、2曲目は「王将」、テレビ画面に合わせ歌い慣れておられる小泉さん。アンコール曲は、「お富さん」。そして2階へ移動。「旅姿3人男」「若いふたり」アンコールは「一週間に十日こい」で、皆さん喜ばれ大変盛り上がりしました。

4月誕生会は、楽しい催しになりました。(嶋田)



▲ペットボトルをめがけて



▲福は内、鬼は外

節分

2月3日、節分を行いました。鬼に扮した職員が各フロアを回り、入所者の方が鬼に玉を投げ、雰囲気を楽しんでもらう毎年恒例の節分の行事です。

無理をしない範囲で、体を動かせることもあり、入所者の皆さんは、とても楽しそうに鬼に玉を投げられました。

鬼に扮した職員もパフォーマンスを揮って、演じる姿に、会場からは、笑い声が上がりました。賑やかでも楽しい時間を会場からは、過ごすことができました。行事終了後は、希望された方に、鬼の仮装をしてもらい、記念撮影を行いました。今年も節分も笑顔いっぱい、明るい催しになりました。

(山本聡)

おひな祭り

3月3日、やすらぎではひな祭りが行われました。

おいしい桜もちと、甘酒がふるまわれました。ひな祭りにちなんだ曲や童謡を聴きながら、利用者さんは、ゆつたりとした、楽しいひと時を過ごされました。

今回の催しは、やすらぎ舞踊愛好会の皆さんによる、舞踊を披露してもらいました。

披露してもらいました。

始めに「浪花節だよ人生は」が流れ、「めおと春秋」です。2曲とも華やかな踊りです。利用者さんは、リズムのつて手拍子をしたり口ずさんだりしながら楽しく鑑賞されました。

最後に「うれしいひなまつり」の曲に合



▲鬼に扮して笑いが



▲5段飾りのお雛さま



▲やすらぎ舞踊愛好会



▲手あそび



▲語り部(ベ) 松井芳子介護士

5月誕生会は、私たちの町 高岡をつくった前田の殿様のお話です。慶長14年(一六〇九)加賀藩主前田利長が新しく築城した高岡城に九月十三日入城。町人も集まり、今でも一番町、二番町、守山町、木舟町、御馬出町、小馬出町その他の町名が残っています。

民踊体操(リハビリ)ボランティア
昨年より、コロナ禍の影響で二年間お休みしていた藍の会、宮浦早苗、竹内静枝両先生による民踊体操が3月より再開致しました。2階は第3木曜日、3階は第1金曜日に来てもらっています。
始まる前に会場の準備をしていると、「今日何、あるがけ」と聞かれ、民踊体操です。と答えると、「先生方来られるがけ」ととても嬉しそうです。
いつも通りに、民謡、歌謡曲、童謡等十曲以上続けて指導されましたが、皆さんしっかり手を上げ、楽しそうです。途中、炭坑節になると職員も輪の中に入り、先生の後ろについて踊りました。
久しぶりで利用者、職員もたいへん楽しかったです。宮浦先生、竹内先生ありがとうございました。
これからもよろしくお願致します。
(介護士長 田中)

ワクチンについて

介護老人保健施設やすらぎ 施設長 長谷田 泰男

二〇二〇年一月頃より始まった新型コロナウイルス感染症は二〇二一年六月現在も猛威を振るっています。ウイルス感染症に対する特效薬がない現状ではワクチンの重要性が改めて認識されると同時に、日本におけるワクチン行政の遅れが露わになったともいえます。ここではワクチンに関する基礎的な事柄について述べていきます。

*ワクチンとは…感染症の予防に用いられる医薬品で、病原体から生成した、病気に対する抗体（免疫）を生じさせるものです。世界のワクチンは天然痘ワクチンで、一七九〇年代にジェンナー（英）により開発されました。天然痘は致死率が二〇〜四〇%と非常に高い疾患でしたがワクチンにより一九八〇年にはWHOから根絶宣言が出されました。ワクチンという言葉はパスツールがラテン語の雌牛を意味するVACCINAからつけた名前です。その後一世紀余り経過してようやく様々なワクチンが開発されることとなります。現在ワクチンにより防げる病気は以下の通りです。

麻疹（はしか）、風疹、水痘、百日咳、ジフテリア、破傷風、結核、ポリオ、日本脳炎、A・B型肝炎、インフルエンザ、ヒブ感染症、ヒトパピロウイルス感染（子宮頸がん）、

インフルエンザ、肺炎双球菌感染症など、二十種類ほどあります。

*ワクチンの種類

- 一・生ワクチン…生きている病原体を弱毒化（病原性をなくす）して接種。抗体の作成やキラー細胞（病原体やがん細胞を攻撃するリンパ球の一種）を育成して高い免疫力を作る。風疹・麻疹・水痘（みずぼうそう）・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）・結核・ロタウイルスなど。
- 二・不活化ワクチン…死んだ状態の病原体を接種。抗体を作成。生ワクチンよりは免疫力は弱いいため、何度か接種が必要。インフルエンザ・ポリオ・子宮頸がん・ヒブワクチン・日本脳炎・百日咳・A・B型肝炎など。
- 三・トキソイド…毒素を弱毒化して投与、毒素を出す病原体に有効。破傷風・ジフテリア

*新型コロナウイルスワクチン…いくつかの種類があります。

一・遺伝子ワクチン…新しい方法で作成され、素早く大量に生成できて有効性も高い。ウイルスのごく一部の遺伝子をコピーし、生成して投与し抗体を生成する。ファイザー社・モデルナ社（現在日本で

使用されている）…超冷凍保存が必要。アストラゼネカ社（英国）…冷蔵保管が可能、まれに血栓ができる報告
いずれも三〜四週間の間隔で二回の接種を行います。

二・不活化ワクチン…中国シノヴァク社、シノファーム社 従来の方法で作成、超低温保存の必要はない。やはり二回接種、効果は遺伝子ワクチンより劣るが副作用は少ないといわれている。

三・その他開発中…組換えタンパクワクチン、ペプチドワクチン、DNAワクチン

*日本のワクチン事情

始めにも述べましたが日本の予防接種制度は世界的に見ると大変遅れています。世界では予防接種が常識である疾患に対しても日本では定期接種（全額、または一部公費負担）ではない、または最近になりようやく定期接種と認められたというのが現状です。医療大国であるはずの日本ですが、こと予防接種に関しては接種による健康被害の歴史や開発にかかる時間と費用などが足かせとなっていたようです。

今後ワクチン行政が発展していきますよう、また皆様方にワクチンについての知識とご理解を深めて戴きますようお願いいたします。

やわらかくハジメよう

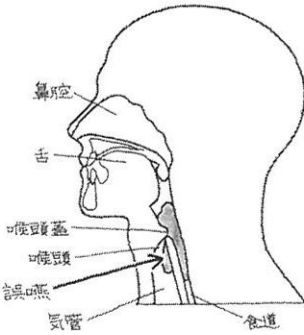
ずっと美味しく食べたい！

理学療法士 佐伯 駿一

はじめに

「食に対する愛より誠実な愛はない」byバーナードショー。というところで今回は食に関わる「むせ」とそれに対する「嚥下体操」について簡単にお話したいと思います。

喉は食物が通る食堂と空気が通る気管の2つに分けられます。気管内に空気以外の物が通ると「むせ」が生じるため、普段食物が食道を通る際にはのど仏を上方移動させることで食道を広げると同時に、気管に喉頭蓋という蓋がしまることでもせを防いでいます。



一、加齢によりむせ易くなる理由
(1)筋力低下

噛む力の低下やのど仏を上下する動作が遅くなり誤嚥し易くなる。
(2)のど仏の位置が下がる

喉頭蓋が閉まるタイミングが遅れる。喉の半分より下にのど仏がある場合には注意が必要。

(3)唾液が少なくなる

咀嚼した物をまとめることが出来ず、誤嚥し易くなる。

(4)呼吸パターンの変化

若年層では嚥下後に息を吐きますが、高齢者では嚥下後に息を吸うことが増え、嚥下障害により気管の入口に食物残渣があると誤嚥し易くなる。

二、嚥下体操

(1)口開ぎ体操

最大に口を開けて10秒キープし、10秒休むのを5回繰り返す。

(2)おでこ体操

おでこに手の付け根を当て、手とおでこで5秒押し合い、10秒休むのを5回繰り返す。押し合っている間はのど仏に力が入るように意識してください。



栄養デイケア 料理教室

第50回 片手でクッキング

〈メニュー レタスチャーハン・炊き合わせ・アロエヨーグルト〉

片麻痺の方を対象とした片手でクッキング。今回は、旬のレタスを取り入れたチャーハンに挑戦しました。片麻痺の方でも、ホットプレートを使用することで、野菜やご飯を上手に炒めることができました。レタスの緑、卵の黄色、人参のオレンジ色と彩りがきれいなチャーハンは、利用者さんの食欲をそそりました。(管理栄養士 高原由香子)

レタスチャーハン

◇作り方

◇材料 (4人分)

ご飯	4人分
レタス	2枚
卵	1個~2個
サラダ油	小さじ2
挽き肉	100g
人参	3cm
玉ねぎ	1/3個
ごま油	大さじ1
中華あじ	小さじ2
しょうゆ	小さじ2
塩	少々
コショウ	少々

- ①4人分のご飯を炊いておく。
- ②玉ねぎ、人参はみじん切りにする。レタスは一口大にちぎる。
- ③フライパンにサラダ油小さじ2を中火で熱し、溶き卵を流し入れる。ヘラで大きく混ぜ、半熟状になったら取り出す。
- ④続けてフライパンにごま油大さじ1を足して中火にかけ、鶏挽き肉、玉ねぎ、にんじんを炒める。
- ⑤鶏挽き肉の色が変わったらご飯とAの調味料を入れ、炒める。
- ⑥全体に混ぜたら、レタスと③の卵を加えてさっと炒め、火から下ろす。お皿に盛り付けて完成。

【一ロメロ】

レタスの栄養

- ・レタスの旬は晩春~初夏
- ・90%以上が水分で、低カロリーの野菜
- ・カリウム、食物繊維が豊富⇒生活習慣病予防
- ・βカロテン、ビタミンC⇒免疫力アップ



(3)氷なめ練習
小さい氷を口に含み、溶けてきた水を飲み込みます。
冷たい刺激により嚥下反射が誘発され易くなるので、食事前などに行うことがおすすめです。
おわりに
誤嚥性肺炎による死亡率は高齢者が大半を占めています。
美味しく食べて長生きするために
も嚥下体操を頑張りましょう！



令和3年度 年間研修計画

やすらぎでは職員の資質の向上を図るため、年間の研修計画を作成しています。

昨年度から、新型コロナウイルス感染症のため、外部講師による研修は中止していますが、やすらぎ職員が各自の専門性を生かし、講師となり、勉強会を開催しています。

今年度は、感染対策をしっかりと行い、実施したいと思っています。

表1は今年度の研修計画です。

表2は研修委員会構成で、全職員はいずれかに所属し、定期的に話し合い、研修を行います。

研修計画を実施し、職員の資質向上と老健やすらぎの、より一層の向上に努めたいと思います。 介護主任 川上さや香

表1

Table with 4 columns: 月 (Month), 内容 (Content), 月 (Month), 内容 (Content). Rows include medical equipment confirmation, medical lectures, accident prevention, nursing care, and education lectures.

Table with 4 columns: 接遇 (Reception), 褥瘡防止 (Bedsores prevention), 環境整備 (Environment improvement), 余暇 (Leisure). Rows list committee members like 伊藤優花, 山本薫, 横井知広, 笹島夏美.

地域包括支援センターでの仕事

副主任 林 政紀子

4月から地域包括支援センターの一員として勤務をしています。

地域包括支援センターは同じやすらぎの施設の中にありますが今まで全く何をしているのか知らず、異動になり初めて仕事の内容を理解しました。

業務で最初に困ったのは聞きなれないワードです。日本語なのに外国にいるような気分でした。ここでの仕事では様々な方と関わることで、連携することの大切さを特に感じます。

また、その地域の持つ力の大切さも学びました。約2か月経ちましたがまだまだ分からないことが多く、毎日勉強させて頂いています。

今までの看護師での経験を生かし、包括の仕事につなげていけるよう、頑張りたいと思っています。



磯野さんに聞く

高校野球の監督、甲子園での審判経験もある

昨年11月から毎週月・水・金曜日にデイケアに通所されている磯野學さん(74歳)にお話を伺いました。

磯野さんは、高岡市美術館の近くで明治時代から百四十年続く書店「学会堂」の4代目として高校の教科書の販売をされています。

小学3年生から野球を始め、22歳から高岡高校野球部の監督を7年間勤められました。また野球の審判の資格をお持ちで、甲子園での審判経験もあるそうです。「監督時代は大変なこともあったけど嬉しいこともたくさんありました」「今年の夏も球児たちの応援をしたい」と話してくださいました。

デイケアへの通所にも慣れてこられた様子で「これまで以上にリハビリを頑張りたい」と抱負を教えてくださいました。

一生懸命思い出しながらお話をしてくださいました。これからも元気に通所してリハビリに励んでください。(村桂子)



坂上春子さんに聞く

周りへの感謝の言葉を忘れないやさしい人柄

2階に入所しておられる、坂上春子さん(86歳)にお話を伺いました。

坂上さんは、石川県の羽咋市で6人兄弟の末っ子として生まれました。「兄弟の仲が良くてね、今は上から2番目と私だけ残った。みんないなくて寂しいね」としみじみと話してくださいました。

19歳で県をまたいだ氷見市に嫁ぎ、土建業と農業をしながら、3人の子供を育てられました。「家の前の畑で家族や親戚が食べられる分の米と好きな野菜を作って、余れば農協に納めてたね」

「今は2人の娘が立派な家に嫁いで、3人がいい生活してるから安心」「息子さんのお嫁さんが良い人だから幸せ」

坂上さんの話の中で何度も子供やお嫁さんの話が出て感謝と「幸せ」の言葉を繰り返して述べられていたのが、とても印象に残りました。

やすらぎではタオルやエプロンを積極的に畳んでくださり、周りへの感謝も忘れない坂上さん。これからも元気に過ごしてください。(伊藤優花)

イラスト 水野

読書コーナー

◇「向田邦子ふたたび」(文春文庫) 文藝春秋編。向田邦子の全魅力、おしやれ、暮し、仕事、家族。秘蔵写真100点以上がよみがえる、その素顔。そして山本夏彦が選ぶ「向田邦子エッセイベスト5」が心にしみいる名作なども。

◇「続、孤独のすすめ」(中公新書ラクレ) 五木寛之著。30万部のベストセラー「孤独のすすめ」待望の続編、世に流布する孤独を恐れるという「孤独論」を退ける。孤独と自由は手をとりあつて、人生後半戦の新たな哲学と。

◇「倉本聰の言葉」(新潮新書) 確井広義編。「北の国から」「拝啓 父上様」「赤ひげ」「やすらぎの郷」など。巨匠の全作品400余の珠玉のセリフ、ドラマの名の名言集。「前略おふくろ様」より、「母親にも青春があったということ。そんな時を子どもは知ろうともしない。その時を考えると涙が出ます」

◇「岸恵子自伝」(岩波書店) 岸恵子著。横濱育ち映画女優。人気絶頂期にフランスの映画監督のイヴ・シャンピと結婚、そして離婚、映画のたくましい成長の喜びと哀しみ。映画人・文化人との交流。社会が閉塞感に覆われている今こそ読みたい、果敢で美しい自伝。

編集後記

▼水無月紫陽花、文月七夕を経て夏。四季のめぐる自然にあわせ、先人たちは賑やかに行事を展開し、お互いの絆を確かめてきた。ところが世相は、コロナの禍事に自信を失いつつある。そんな時、巻頭言福盛和夫氏の、人生は苦しさことの方が多。しかし何がなんでも、こうありたいと思う強い意志は、その方向に向かうという。少年の頃、先生が「おれはこうなるんだ」と朝、庭へ出て叫べ、宣言効果がある、と励ましてもらったことが懐かしい。▼日本財団会長笹川陽平氏は大いなる樂觀が国の将来を開く。わが国の治安のよさ、失業率の低さ、技術の知恵、世界有数の災害国でも、助け合い復興を目指してきた。元イギリス首相チャールズの言葉に、悲観論者は、あらゆる難題を見つければ、樂觀論者は、あらゆる難題の中に、好機を見付けるとある。▼やすらぎ職員は、自分たちで行事を企画、運営し舞台でも演じて利用者の心を和ませる。そのけなげさに、会場から拍手。明るい出来ごとに、藍の会の両先生の民踊体験が再開、いずれコロナ禍の終息するを期待も。▼健康シニアズ長谷田施設長「ワクチンについて」。専門的なことがわかり易く身近な話題の。料理教室を参考にしたとの人。リハビリコーナー、入所、通所者に聞くも毎号紙面を飾る。▼読書コーナーは、手元にある書物から選ぶ。月刊文藝春秋BOOK倶楽部で、「岸恵子自伝」が評判。多用な中原稿提出の職員、回収、校正の水野事務職等に感謝。(炭谷)